

おおだて未来づくりプラン(案)

～ いただいたご意見と市の考え方について ～

※市の考え方の区分

A: 意見をおおだて未来づくりプランに反映するもの、または計画案に反映されているもの

B: 意見を踏まえ事業を進めるなかで検討をするもの

C: その他(施策の参考とするもの)

分野別戦略1 命を守り育む 暮らしづくり

施策1-1 未来の希望を守る結婚・子育て支援

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|---|----------|
| 1 | 保育コンシェルジュについてどのような人材を確保するのか。既存のファミリーサポートとは異なるのか。 | ファミリー・サポート・センターは、会員間で子どもの預かりを行う相互援助事業であり、保育コンシェルジュは子育て支援員研修の利用者支援(特定型)の研修を受講した職員が、子育て中の保護者の相談支援を行う事業です。 市では平成26年度から、国の補助事業を活用し保育コンシェルジュを設置し、子ども課窓口・つくしんぼ広場・つどいの広場ひよこなどの地域子育て支援拠点施設で保育施設の入園手続きの方法や子育て支援事業の利用方法などの相談を実施しております。子育て中の皆様と行政の窓口をつなぐ大切な役割を担っています。 | A |
| 2 | 中長期的な展望が多く、人口減少問題の解決になっていない。明確に「子どもを核にした街づくり」を掲げ保育料や医療費の軽減(無料)、遊び場や公園の整備など子育てする世代が住みたい事にする具体策を掲げるべき。また、実践のために策定には市長が深くかかわるべきである。 | 人口減少は全国的な問題であり、すぐには解決できるものではありませんが、その進行を少しでも抑制するため本プランに掲げた施策を着実に推進してまいります。 令和7年度を始期とする、第3期子ども・子育て支援事業計画作成のためのニーズ調査を令和6年度に実施予定です。子育てに関する計画について、子育て世代の意見に耳を傾け、ご提案の内容も含めて、必要な施策の実施について検討し、子育てしやすいまちづくりを目指してまいります。 計画作成の際には、パブリックコメントを実施予定ですので、ご意見をお願いいたします。 安心して子どもを生み育てられる環境を提供できるよう、施策を推進してまいります。 | B |
| 3 | 人口を増やすことを第一目標とすべき。若年層の結婚に対する意識を高める施策を実施してほしい。 | 結婚を希望する方々を支援するため、「あきた結婚支援センター入会登録料助成」、「プライダルローンの利子補給」、「結婚新生活スタートアップ助成金」などによる経済的負担の軽減をおこなっています。 人口減少・少子高齢化は全国的な問題でありすぐには解決できるものではありませんが、その進行を少しでも抑制するため、結婚から子育て期まで切れ目ない支援をおこなってまいります。 | A |
| 4 | 人口減少に向けた具体的な施策を実施してほしい。 | 人口減少・少子高齢化は全国的な問題でありすぐには解決できるものではありませんが、その進行を少しでも抑制するため、本プランに掲げた施策を着実に推進してまいります。 | A |
| 5 | 少子高齢化に伴う人口減少・担い手減少への対策が一番重要である。 | 少子高齢化に伴う人口減少や担い手の確保は全国的な問題でありすぐには解決できるものではありませんが、その進行を少しでも抑制するため、産業人材の育成やデジタル技術の活用など、本プランに掲げた施策を着実に推進してまいります。 | A |
| 6 | 人口減少や働き手不足は若年層の流出が大きい。出会いの場の一助となるような施策を行うべきでは。 | 人口減少・働き手の不足は全国的な問題であり、すぐには解決できるものではありませんが、その進行を少しでも抑制するため、出会いにつながる支援策を検討してまいります。 | B |
| 7 | 大人も子どもも楽しめる大規模な施設があってもいいと思う。 | 令和4年12月にオープンした子どもの遊び場は、木育スペースに、2020オリンピック・パラリンピックに使用された木材を有効に活用しており、木の良さである柔らかさや温もりが感じられる空間になっており、大人も子どももくつろげる場所となっております。 | C |
| 8 | 若者以外にも出会いの場を創出してほしい。 | 若者に限らず年齢層を拡大した対象者の出会いにつながる支援策を検討してまいります。 | C |
| 9 | 子育てに関する支援(医療費・教育費の無償化等)により大館が住みやすく子育てしやすいまちになってほしい。 | 令和7年度を始期とする第3期子ども・子育て支援事業計画作成のためのニーズ調査を令和6年度に実施予定です。子育て世代の意見に耳を傾け、ご提案の内容も含めて、必要な施策の実施について検討し、子育てしやすいまちづくりを目指してまいります。 計画作成の際には、パブリックコメントを実施予定ですので、是非ご意見をお願いいたします。 多様な子育てサービスと、切れ目なく安心して子どもを生み育てられる環境を提供できるよう、分野別戦略1の施策により取り組んでまいります。 | A |

| | | | |
|----|--|---|---|
| 10 | 生産年齢人口の減少に伴う労働力不足 について、安心して、出産、子育て、仕事の両立ができる仕組みとして、24時間保育を提案する。 | 過去2回の子ども・子育て支援事業計画策定時に行ってきた保護者アンケートでは24時間保育に関する要望が無かったことから、これまで検討はしてきておりませんが、保護者のさまざまな働き方やニーズに対応するため、平日の夜間や休日にお子様をお預かりするトワイライト事業や休日保育事業を継続的に実施しております。 | C |
| 11 | P20「子育てサポーターの時給」についてファミリーサポートセンターの事業で子育てサポーターの時給は600円とありえない低金額だということを見直してほしい。サポーターの時給見直しを提案する。 | ファミリー・サポート・センター事業は、子育てのお手伝いをしてほしい人(利用会員)と子育てのお手伝いができる人(協力会員)が会員となり、助け合いながら、相互援助活動を行う事業です。そのため多くの他市町村と同様に600円としております。今後、他市町村の動向を調査しながら検討してまいります。 | C |
| 12 | 「産前・産後サポート」について、保育士の資格、市の職員となると人数に限界を感じるのではないかと、ファミリーサポートセンターにて毎年開催している「子育てサポーター」の研修内容を見直すことを提案する。ママの話し相手(傾聴)も大切であり、食事の支度をするなどの家事援助をする。「ママが心も体もゆっくり過ごせる環境づくりが大切と考える。 | ファミリー・サポート・センターの子育てサポーター研修の内容は、国で決められた研修内容に沿った内容で実施しておりご理解願います。産前・産後のサポートとして、家事支援事業や保育士の資格がある職員が訪問等で妊娠、出産、子育ての不安や悩みの傾聴を行う、産前・産後ママサポート事業を実施しています。今後も支援メニューの充実を図ってまいります。 | C |
| 13 | 結婚、出産、子育てに自信・不安をもっている若者が加速度的に増えているように思う。特に経済面で二の足を踏み婚期を逃しているのではないかと、地方行政の対策(支援)だけで対処できるものではないが、産業の活性化を通して子育てに優しい大館を望む。 | 結婚を希望する方々を支援するため、「あきた結婚支援センター入会登録料助成」「プライダルローンの利子補給」「結婚新生活スタートアップ助成金」などによる経済的負担の軽減をおこなっています。人口減少を少しでも抑制するため、施策3-3より産業の活性化から雇用の場を確保し、施策1-1で妊娠から子育て期への切れ目ない経済的な支援をおこなうことで子育てに優しい大館を目指します。産業の活性化については、基幹産業として確立している環境リサイクル産業や医療健康産業に加え、新たな産業の柱として、食品加工産業の活性化に力を注いでまいりたいと考えております。 | A |
| 14 | まわりを見れば、中年になって結婚していない方々が多いように思える。「出会い」についてはもう少し若い世代からはじめないと遅いのではないかと。 | 結婚を望む方に「あきた結婚支援センター」の紹介や経済的な負担を支援するため、「プライダルローンの利子補給」「結婚新生活スタートアップ助成金」などによる助成をおこなっています。若年層に限らない出会いの場の創出と結婚や出産につながる支援策を検討してまいります。 | A |
| 15 | 子供や若者が住みやすいまちづくりをお願いしたい。 | 令和7年度を始期とする、第3期子ども・子育て支援事業計画作成のためのニーズ調査を令和6年度に実施予定です。子育て支援に関する計画について、子育て世代の意見に耳を傾け、ご提案の内容も含めて、必要な施策の実施について検討し、子どもが暮らしやすいまちづくりを目指してまいります。 住みやすさには、生活の利便性や住環境などそれぞれのライフスタイルによって条件は広範囲に及びますが、分野別戦略5の施策により取組んでまいります。 | B |
| 16 | 結婚から、医療費や教育費など子育てに手厚い施策を施している自治体もあるため、対処療法ではなく本質的な対策を行ってほしい。 | 結婚を望む方に「あきた結婚支援センター」の紹介や経済的な負担を支援するため、「プライダルローンの利子補給」「結婚新生活スタートアップ助成金」などによる助成を行っています。 令和7年度を始期とする第3期子ども・子育て支援事業計画作成のためのニーズ調査を令和6年度に実施予定です。子育て世代の意見に耳を傾け、ご提案の内容も含めて、必要な施策の実施について検討し、子育てしやすいまちづくりを目指してまいります。 計画作成の際には、パブリックコメントを実施予定です。是非ご意見をお願いいたします。 | B |

施策1-2 みんなで取り、組む健康づくり

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|---|---|----------|
| 17 | 健診・検診の受診率向上について会社の健診で賄われないがん検診を若い人に受けてもらえるような工夫をすべき。個人病院では胃カメラや大腸カメラの予約が取りづらい状況であるため、改善してほしい。乳がん健診を30代の女性にも補助拡大してほしい。 また、若い世代には病気になることでの経済的損失、予後に関しても人によって認知の差があるため、啓発してほしい。 | 若い年代のがん受診率向上対策として、特定の年代を対象に自己負担金無料の検診、休日の検診や託児付き、女性限定日の設定など受診しやすい体制整備に努めています。また、健康づくりチャレンジ事業所認定事業により、働き盛り世代の健康づくりに対する関心を高め、生活習慣の改善、健診受診の後押しを行っており、今後も若い年代が受診しやすい実施体制の拡大や整備、検診の周知啓発に努めてまいります。 なお、乳がん検診は、国のがん検診実施の指針に基づき実施しています。今後も対象者等実施方法について、国のがん検診の動向等注視しながら検討してまいります。 | A |
| 18 | こころの健康づくりを推進してほしい。 LINE相談・オンライン相談を開催することを提案する。 | こころの相談事業は現在、面接相談、電話相談・メール相談を行っています。LINE相談は秋田県で行っていますNPO法人「蜘蛛の糸」のLINE相談をご利用いただけます。 | A |

施策1-3 高齢者、障がい者等が自分らしく安心して暮らせる支援

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|---|--|----------|
| 19 | 養護施設の不足がかねてからの課題ではないか。 | 介護保険施設については、3年を期間とする介護保険事業計画において計画を位置づけ整備を進めております。今後の高齢者人口、高齢化率、介護需要の推移を考慮しながら施設の整備を検討してまいります。 | C |
| 20 | 社会福祉支援もしっかりしていると思える。行政や各施設に相談しやすい。 | 市では地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、令和3年度より「重層的支援体制整備事業」を創設し「福祉まるごとネットワーク」による属性を問わない包括的な相談支援体制を構築しました。今後も関係機関との連携を促進し、課題解決に向けた体制づくりについて引き続き協議してまいります。 | C |
| 21 | 様々な理由で一人で暮らす高齢者や未婚のまま老後を迎えるかた、いわゆる「おひとりさま」問題へ取り組んでほしい。頼れる人がいない高齢者への包括的な支援など、どのような人でも安心して最後を迎えられるまちづくりを。 | 市では、高齢者の社会的孤立感の解消と高齢者の健康維持と増進のため、「生きがい健康づくり支援事業」や住民団体による「通いの場づくり事業」等を実施し高齢者と地域のつながりによる支え合いの仕組みづくりを進めております。 医療や介護が必要になった場合は、「地域ケア会議」により、支援が必要な高齢者に最適な社会資源の活用を検討し、状況に応じて成年後見制度を含む権利擁護支援をするなど多職種が連携し支援を行っております。 今後、独り暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加するなか、頼れる人がいないかたが安心して暮らせる支援が必要であり、ご意見にある高齢者の包括的な支援の体制づくりについて、関係機関等と協議し検討してまいります。 | A |
| 22 | まずは少子化に歯止めをかけ、高齢者が安心して、なおかつ、低額の利用料で入居できる施設をつくって頂く。そのようなまちづくりをお願いしたい。 | 高齢者が利用できる施設は、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム等があり、利用料金は利用されるかたの収入に応じて区分されております。 特別養護老人ホームにおいては、食費・居室使用料について、収入等の要件に応じた減免制度もあります。 ご意見の施設の整備については、今後の高齢者人口や高齢化率を考慮しながら、整備について検討してまいります。 | A |

施策1-4 共に支え合う社会の実現

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|--|----------|
| 23 | 大館市民の所得を向上させる政策は市として考えていないのか。低所得者のみに行う給付はやめていただきたい。物価高に關してはどの市民も等しく実感していると思うが、どのように考えているか。 | 市民の所得の向上には、企業の生産性向上が不可欠と考えております。工場設置促進条例や先端設備等導入計画などに基づくハード面での支援と、資格取得や能力開発セミナーの受講などのソフト面での支援をあわせて進めております。 今後さらに生産性を高めていくためには、企業のDX・GXの推進、スタートアップ企業の育成が重要と捉えております。また、企業の設備投資に係る固定資産税の減免や融資の保証料、利子補給などの支援を行っておりますが、企業の人手不足が大きな課題となっています。物価の高騰により家計を圧迫していることもあり、国の経済対策の支援に合わせ産業の活性化を支援してまいります。 国の追加経済支援策に伴い、特に影響の大きい低所得世帯に対する給付を実施したところであり、国は定額減税等の抜本的な対策も予定していることから、実施に向けて準備を進めております。 | C |
| 24 | 多様性と包摂性のある社会づくりにて、女性の社会参画は十分に進んでいないとあるが、そのように判断した根拠は、具体的にどのような障壁があると考えているのか。また、男性の家庭への協力がなければ女性の社会参画は進まないが、その点に関して市としてどのように考えているか。2023年度よりも予算を増やすことは考えているか。 | 女性の社会進出は着実に進んでいるものの、非正規職員が多いことや男性の育児休暇取得率なども含め、浸透するには社会全体の意識の変化が重要と思われます。そのため、多様性を認め合うための意識の醸成に取り組んでまいります。 | A |
| 25 | 傾聴ボランティアや認知症サポーターなどに関して受講したとしても、サポーターやボランティア同士の横のつながりがないことなど、受講後のアフターフォローがないことが問題と考えている。育てばなしにせず、チームとして機能していくようにする必要があると考える。また、ボランティアやサポーターが話を聞いたあと、誰に相談したら良いかわからないケースもあると思うため、地域包括支援センターや行政は各ボランティアやサポーターと定期的に情報共有できる仕組みがあってもよいのではないかと。 | 傾聴ボランティアは、養成講座終了後、希望者に交流サロン「ひなたぼっこ」に参加していただき、サロン終了後にボランティア同士の情報共有を行うことでコミュニケーションを図っています。 認知症サポーターについては活動の場を広げるため、認知症のかたやご家族の生活面を支援する「チームオレンジ」メンバーになるためのステップアップ講座を開催しておりますが、まだ、受講者による「チームオレンジ」の立ち上げに至っていないのが現状です。 今後、認知症サポーターやチームオレンジメンバーと、支援が必要な認知症のかたとのマッチングや、サポーターの活動を支援していく仕組みづくりについて関係機関等と協議し検討してまいります。 | B |

| | | | |
|----|--|--|---|
| 26 | 高齢者・障がい者支援について、無料のボランティアでは限界がある。制度の狭間の支援に関しては有償化していく必要がある。また、キーパーソンがいない人への支援はどのようにしていくのか。 | 既存の公的サービスで対応できない制度の狭間への支援の在り方については、自立相談支援機関を中心に一人ひとりの状況に応じた伴走型の支援を目指します。キーパーソンが不在であってもフォーマル、インフォーマルも含めた支援体制の構築を検討しながら、場合によっては有償化の議論も必要になると思われます。 市では買い物代行などの生活支援や通院等の移動支援など、高齢者の日常生活を手助けする住民主体の有償ボランティアの取り組みを支援しております。今後もこのような取り組みを支援する事業の継続により、高齢者の支援を行う住民団体等の増加を図ってまいります。 キーパーソンがいない人への支援については、地域包括支援センター、市立総合病院の地域連携室や相談室、ケアマネジャーなどの関係機関が連携し、引き続き対応してまいります。 | B |
| 27 | この計画が町内会や、地域住民にどれほどの必要性があるのか、計画を住民が理解し実践し、計画を身近に感じ取れるのかなか難しいと感じる。 高齢化が進み、町内会の存続も危機的な状況にある。近隣の町内会との合併や町内会の廃止を検討する必要があるなかで、まずは町内会などの体力向上の施策の強化を望みたい。書類が手元に届いてから提出期限までの期間が短いほか、策定経過などがないため建設的な意見を述べるのが難しい。 | 様々な行政活動や地域福祉計画を推進していくうえで、町内会は重要なパートナーであると考えています。また、町内会は、住民相互の親睦や、住みよい地域づくりのための防犯、防災、環境美化などを担う組織です。町内会活動の支援については、活用できる支援メニューを周知するほか、先進事例を参考に取り組み内容を検討してまいります。いただいたご意見については、施策の取組みを進める中で対応してまいります。 パブリックコメントのご意見の募集期間につきましては、策定スケジュールにおいて計画の取りまとめに時間を要してしまい本期間となったものであり、お詫び申し上げます。 | B |
| 28 | 多様性を認め合うための意識の醸成には、障害や国籍に留まらず、性(LGBTQ+)分野に踏み込んだ意識の醸成がこれからの時代に求められる。 | 本プランのコンセプト(将来像)として「多様性を力に」を掲げており、これから人口減少や長寿化が進行するなかで市民個々の繋がりが、今後の地域の発展に繋がっていくものと認識しています。障害や性別、国籍に留まらない意識の醸成に取り組んでまいります。 | A |
| 29 | 地域の町内会の活動に差があることを実感している。計画を着実に進めていってほしい。 | 町内会活動は、地域特有の関係性などで異なるものと考えます。地域社会を支えるパートナーとして連携してまいります。 ご意見については、施策1-4の取組みを進める中で、対応してまいります。 | B |
| 30 | 町内会の現状を踏まえ、市としてどう解決を図るのか記載すべき。 | 町内会は、住民相互の親睦や地域課題の解決など、住みよい地域づくりのために、重要な役割を担っておりますが、少子高齢化が進む中、役員の担い手不足をはじめ、これまでの活動の継続に様々な支障が生じていると考えています。 ご意見については、施策1-4の取組みを進める中で、対応してまいります。 | B |
| 31 | 町内会役員の担い手不足は深刻であることから、組織を維持する取組を進めてほしい。 | 町内会は、住民相互の親睦や地域課題の解決など、住みよい地域づくりのために重要な役割を担っておりますが、少子高齢化が進むなか、役員の担い手不足をはじめこれまでの活動の継続に様々な支障が生じていると考えております。 交流人口・関係人口を拡大し、移住者やAターン者の定住につなげる施策の推進も、多世代がそれぞれの役割を担い地域コミュニティの維持につながるものと考えます。 ご意見については、施策1-4の取組みを進める中で、対応してまいります。 | B |
| 32 | 多様性への理解について、知識を得る「学ぶ時間」を増やすために秋田県北部男女共同参画センターと連携して「多様性やジェンダーの講話」回数を増やしていくことを提案する。 | 令和5年度に秋田県北部男女共同参画センター様に共催いただき、多様性をテーマとしたセミナーを開催しております。今後も、学ぶ機会を増やし多様性について理解を深めてもらえるよう施策を進めてまいります。 | A |
| 33 | 大館市が「町内会」をどのようにとらえ、位置付けているのか明確にし、「パートナー」として「横断的戦略」に書き加え、強化を図ってほしい。 | 町内会は、住民相互の親睦や地域課題の解決など、住みよい地域づくりのための自主的な活動のほか、市行政とも様々な関わりを持ち、ご協力いただくなど、重要な役割を担っていただいておりますが、役員の担い手不足をはじめ、これまでの活動の継続に様々な支障が生じていると考えています。 ご意見については、施策1-4の取組みを進める中で、対応してまいります。 | B |
| 34 | 新しい時代、おおだて未来づくりプランの足元「町内会」を支援する条例でも作って、行政、事業者、住民が同じ目標に向かって進めるようにしたらどうか。 | 高齢化による地域コミュニティの維持が危ぶまれるなか、町内会も、これまでの活動の継続に様々な支障が生じていると認識しています。 市内各地域に生活支援コーディネーターを配置して、地域課題の洗い出しとその解決に向けた取組みに対する支援をおこなっており、共助と支え合いによって単一町内のみならず町内同士や地域事業者との連携によって可能となる仕組みづくりを行政が支援していくことが重要と考えています。 | B |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 35 | 若者から高齢者まで一体となって市町村の活性化に参画できれば良い。 | 人口減少が進む中で、本市に暮らす市民全員が参画いただければ、市の活性化に直結するものと考えます。協働のまちづくりに向けて、市民参加を推進してまいります。 | C |
| 36 | 今後ますます複雑化する地域課題を行政と地域が一体となって求める「地域コミュニティ」振興に向けた計画を盛り込んでいただきたいと思えます。 | 町内会は、住民相互の親睦や地域課題の解決など、住みよい地域づくりのために、重要な役割を担っておりますが、少子高齢化が進む中、役員の担い手不足をはじめ、これまでの活動の継続に様々な支障が生じていると考えています。 ご提案の内容については、「施策1-4 共に支え合う社会の実現」の取組みを進める中で、対応してまいります。 | C |

施策1-5 機能分担と連携による持続的な医療の提供

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|---|--|----------|
| 37 | 在宅医療の管理病院を扇田病院へ特化。 | 扇田病院の取り組みを継続するとともに、令和6年度から総合病院に訪問看護ステーションを開設し、地域に不足している在宅医療を担っていきます。 | C |
| 38 | 市立総合病院での初診受付対応の実施。 | 総合病院は、二次医療機関として主に急性期の患者さんについて対応しており、新患については、一部の診療科を除き紹介状を持参していただき受付しております。 | C |
| 39 | 市立総合病院職員の患者に対する応対教育の実施。 | 接遇については、毎年実施の患者アンケートの結果を踏まえ、指導教育を行い改善に努めます。 | C |
| 40 | 働きながら子育てしている母の負担として、子供が体調不良時に会社に連絡が来るが、すぐに動けないこともあるとのこと。民間の有料サポーターなどが協力して保育園→自宅or医療機関受診などに結びつけられるような仕組みがあるとよいのではないか。 | ファミリー・サポート・センターでは、健康状態が良好なお子さんの保育施設や小学校・自宅などへの送迎サービスを行っております。体調不良のお子さんの医療機関受診については、これまで相談がありませんでしたが、事業の委託先と検討してまいります。 | B |
| 41 | 医療Maasに関して訪問看護経験者としての意見だが、訪問看護で使う社用車には患者を乗せていくことが難しい。また、患者もタクシーを使うとなるとへき地の患者ほど金銭的な負担が大きいのが現実である。こういった点を賄うサービスがあるといい。現実的にいうと、訪問看護師は病院に受診同行しない(収入が発生しない)ので、どうやって患者の情報をリアルタイムで共有できるようにするか、IoTの活用を勧めてほしい。 | 総合病院では、訪問看護の開始と合わせて、訪問看護師がタブレット端末を携帯することにより、一部診療科からオンライン診療の開始を検討します。 患者さんの利便性向上と安全な医療を提供するために、ICTを活用しながら在宅医療の充実を図っていきます。 | B |
| 42 | 訪問看護ステーションを市立病院で開設するとあるが、訪問診療にも対応するのか。また、民間の訪問看護ステーションとの差別化・共存はどのようにしていくのか。 | 総合病院に通院が困難で、在宅療養中の患者さんが必要な医療を受けられるよう、医師が訪問看護師と連携しながら、訪問診療に取り組んでいきます。 訪問看護師は、保健、医療、福祉などの多職種と連携することにより、在宅療養を支えています。 | B |
| 43 | 医師・看護師・介護士などの人員確保の目処や、具体的な育成方法など実行性のある計画としてほしい。 | 医師の確保については、引き続き秋田県や関係大学への協力依頼と連携を図っていきます。また、医師が働きやすい環境の整備や、事務負担軽減の取り組みを行いながら医師確保に努めていきます。 看護師、医療技術者等の確保に向けては、実習生の受け入れや、看護師奨学金制度の活用などにより、医療人材の確保に取り組みます。 将来の医療人材育成のため、高校生を対象としたフューチャードクターセミナーや病院見学会の開催などに取り組んでいきます。 | B |
| 44 | 訪問介護、訪問診療の実施はぜひ進めてほしい。 | 総合病院に訪問看護ステーションを開設し、在宅医療を担うとともに、訪問看護と連携した訪問診療に取り組むことにより、在宅療養支援体制の拡充を図っていきます。 | A |
| 45 | 地域が求めていることを知ってほしい。地域の特性を活かした連携ができることを提案してほしい。 | 魅力ある大館市になるためには地域の元気が必要です。「施策1-4 共に支え合う社会の実現」に取り組む中で、市民が生き生きと暮らせるよう施策を推進してまいります。ご提案の内容については、取組みを進める中で、対応してまいります。 | B |

施策2-1 夢と成長を支える学校教育

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|---|----------|
| 46 | 主要な実施事業欄に具体的に記載されている項目は分かりやすくして良い。なぜ、なにを、どうするの順番で記載されていると読みやすいのでは。子どもたちの英語・デジタル力を挙げて何をしたいかまで記載されていると良い。 | 市民の皆様にとって分かりやすいプランとなるよう努めて参ります。ご期待に応えられるよう、プランに掲げた施策を着実に推進して参ります。 グローバル化が進む社会の中で、国際共通語としての英語の能力を磨くことの重要性が高まっています。市では、小学校に外国語活動支援員や中学校にはALTを配置し、就学前から中学校までの英語に親しむコミュニケーションの機会の提供に努めております。 また、子どもたちがデジタルスキルを身につけられるよう、ICT環境を整え、デジタル教材や教育支援ソフトを積極的に活用してまいります。 | A |
| 47 | 「主権者」を育む「権利」教育を。子どもはもちろん、大人も含め、市民が一体となって「権利を大切にすること」が必要であると考える。 | 選挙権年齢及び成人年齢の引き下げにより、主権者として求められる力を育成することが求められており、現在は文部科学省が新たに作成した指導資料を活用するなどして、小中学校の社会科の授業の中で、「主権」や「権利」などの学習を取り扱っております。 また、市の議場で開催しております「大館市子どもサミット」を通して、小中学生が話し合っただけの内容を、全小中学校が共通して実践する取り組みも実施しており、議場での討議には市長をはじめ市議会議員の皆さんも参観に訪れるなど、子どもが主体的に社会の課題解決に参画する仕組みを構築しております。 今後も、こうした取り組み等を通して、社会の形成者として活躍できる大館市民を育成してまいります。 | B |
| 48 | 大館には豊かな自然がある。子どもの食育・環境教育を含んだオーガニック給食を。 | 有機農産物を学校給食に使用することは、食の安全と環境にも配慮するものであるため、重要な取り組みと考えております。 本市では、無農薬・無化学肥料で栽培されたお米を使って、学校給食(1回分)を提供しております。 地域で生産された有機農産物を学校給食で提供することは、「食のふるさとキャリア教育」を推進する観点から、望ましい方向であると認識しておりますので、今後も地産地消の取り組みの一環として学校給食に積極的に使用してまいります。 | B |
| 49 | 市民がもっと市政に関心を持ってもらうように工夫が必要ではないか。特に選挙に関しては若い世代の投票率が低い。4年に1度だけではなく、選挙がない時から市民への学習の機会を提示したり、まちづくりの前に選挙について学んだりすることのほうが重要ではないか。出前講座は依頼を待つのではなく、どんどんやって欲しい。 | 若年層への投票率の向上については、出前講座や模擬投票のほか、「大館市子どもサミット」の開催等による主権者教育をはじめとして、ポスターや標語の募集および活用による啓発事業などが実施されているものの、大きな効果を得るに至っていない現状であると考えています。 今後は、県内全域で若年層の投票参加を促すための活動が必要と考えており、若者が選挙啓発活動に参加する「選挙サポーター」設置の提言など、県内の選挙管理委員会と連携して、県選挙管理委員会に働きかけます。 | B |
| 50 | 少子化のなかで、学童、生徒数の減少が顕著であるが今後の小中学校再編(統廃合)をどうするか早急にプランを示してほしい。 | 学校の統廃合及び学区編成に当たっては、児童生徒数の将来推計や出生数といった人口動態を予測しながら、学校環境適正化計画に基づき、子どもたちのより良い教育環境を整え、教育の質の向上と教育活動の充実を図ってまいります。 | B |

施策2-2 誰もが学べる環境づくり

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|---|--|----------|
| 51 | 高齢者にできることは何か記載されていればなお良いと感じた。知識の伝授(技術・歴史)道具のシェア。学びなおしたことをアウトプットする仕組みがあれば。 | 地域文化や生活文化の継承は、郷土を思う気持ちにつながることから、いただいたご意見は施策2-2の中で今後の事業展開に生かしてまいります。 | C |
| 52 | 公民館(分館を含む)の利用者を増やすための具体的な施策を。毎月継続的に実施できる教養講座を開設する。退職教員等をもっと活用してはどうか。 | 利用者の増加を図るため、新規の利用者が安心して参加できるような入門レベルの講座やワークショップの開催、季節や地域に合わせた講座を展開してまいります。 なお、退職教員の方々には、地区公民館長及び公民館運営審議委員として活躍していただき、各公民館で開催する講座の講師もお願いしているところです。 | C |
| 53 | 公民館利用規則を見直して柔軟な対応ができるようにできないか。 茶道教室や市民茶会が公民館で行われているが、火気の使用が禁じられ、炭火で茶を点てることが出来ない。 | 現在利用されているサークルでは、ガスでお湯を沸かし、ポット又は電気式の茶釜等を利用されております。 炭火の利用に関しては、火器を部屋内に持ち込むことは、防災上許可できません。ただし、防火管理者が出勤していること、防火管理者の指示に従うこと、火気使用場所にて炭を加熱していただき、熾火になった状態であること等を満たせば、使用を拒むものではありません。 使用ケースによっては消防への確認が必要になるため、ご相談ください。 | C |

| | | | |
|----|--|---|---|
| 54 | 大館学び大学について、受講者が学んだことが実際に就職や転職に生かされているのかどうか知りたい。また、講師陣の層を厚くしてほしい。製造業や介護、医療系の講座がないのはなぜなのか。地域おこし協力隊や移住者の話は他にも聞けるため、もっとリカレントに特化してほしい。趣味の集いと教育が混ざっている印象をうける。 | 講座受講により、フリーライターとして就職につながった方がいます。また、本事業では、日々の仕事の中での力不足の部分を補うような講座へ参加し、スキルアップを目指す方も一定数います。事業として「大学」と銘打っていますが、国が認めた高等教育機関ではないため、受講することで国家資格を得たり、受験資格が与えられたりするものではありません。しかし、在宅介護のための市民のスキルアップなど、講座内容を工夫することで、学びにつなげることができると考えております。市民の皆様の学び直しを支援できるように講座企画の工夫を図ってまいります。 | B |
| 55 | 市の施設を借用したいと思っても、参加費を徴収することを伝えると「営利目的」と言われてしまうことがある。サークル活動でさえ活動資金が必要なのに参加費徴収することだけで営利と言われてしまうと継続的なサークル活動やイベントでは賃料の負担が大きくなっていく。職員によって対応が異なるのか、市としてのルール・解釈はどうか。 | 使用団体として登録されているサークル内での会費徴収については、営利とみなしておりません。ただし、サークルメンバーだけでなく広く参加者を募るもので、参加費が必要となるものについては、内容詳細や参加費の内訳を確認させていただいたうえで判断しております。 | C |
| 56 | 教育と学ぶ力で活力を引き出す「大館版リカレント教育」の記載がないが、交付金額が大きく、特徴的な施策として明記しなくともよいのか。 | 「大館版リカレント教育」については重要な施策として認識しております。令和6年度より「大館学び大学事業」として継続してまいります。 | B |
| 57 | 「社会人の学び直しの受講者数」の目標値において、現状値と目標値の乖離が大きいため、「大館学び大学」等のコンテンツ及び情報発信の充実を強化していくべき。 | 情報発信を強めるとともに、講座内容の充実に努め、市民の皆様の学び直しを支援してまいります。 | B |

施策2-3 地域と育む「未来大館市民」

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|-----|-------|----------|
|-----|-----|-------|----------|

施策2-4 地域伝統文化の振興

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|---|----------|
| 58 | 大館市の歴史や先人たちのことに触れる機会を設けたり、郷土博物館や小畑勇二郎記念館などで周知活動や大館市の歴史や先人のことについて学ぶ機会を作ったりして欲しい。新聞や広報だけでなく、SNSも活用してほしい。 | 大館の歴史や先人、自然や文化財について、これまで講演会や講座を開催してきましたが、今後も大館のいろいろな宝をテーマに学ぶ機会を作り、新聞や広報のほか、ホームページやX(エックス)などでの情報発信を継続し、積極的なPRに努めていきます。 | A |
| 59 | 郷土の伝統文化学校の活動を支援するに留まらず、大館市が主体となり参加を促す取り組みが必要ではないか。 | 市内の郷土芸能などの団体が構成されている大館市郷土芸能保存協会の活動を支援してまいります。また、未加盟の団体についても同協会への参加をPRして、伝統文化の承継に努めてまいります。 | A |

分野別戦略3 力強くひと・ものが行き交う なりわいづくり

施策3-1 豊潤な田畑を活かした農業

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|---|----------|
| 60 | 今後は耕作放棄地が増えていくことが心配される。後継者・スマート農業にも限界がある。今後の大館農業の方向性を示してほしい。 | 市場や消費者ニーズを踏まえた農産物生産や販路拡大を図ります。また、有機農業の推進や6次産業化による付加価値の創出及び農産物を磨き上げ、ブランド化による「稼げる農業」を目指します。 | A |
| 61 | 農業に参入促進については、より積極的に取り組んでほしい。田畑が荒れてくると自然環境がよくありません。 | 次世代に農業技術や知識を継承する仕組みづくりと農業研修の充実を図り、新規就農者や異業種企業の農業への参入を支援します。また、スマート農業の導入と農地整備や集約化により農作業の効率を高め、農業経営体の耕作面積の拡大と、遊休農地の抑制に努めます。 | A |

施策3-2 豊かな森林(もり)を活かすまち

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|--|----------|
| 62 | 脱炭素社会の実現に向けた森林の管理に関連し、Jクレジットへの取り組み具体化(稼働林業の実現のための「地産地消」「地産外消」として金融機関との(コンサル)との連携強化を期待する。 | Jクレジットについては、様々な先進事例を調査しながら最も効果的な手法を研究しているところです。取り組みの具体化に当たっては、ご意見をいただいたとおり「金融機関等との連携強化」も踏まえて進めてまいりますので、よろしくお願ひします。 | B |

施策3-3 まちの特色を活かした商工業

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|---|--|----------|
| 63 | 人口減少やAターンの増加の対策として男性型企業の誘致を県と連携して行ってほしい。 | 企業誘致に関しては、県の企業誘致担当部門へ職員を派遣し、県との連携を密にししながら様々な活動を展開しているほか、企業誘致の受け皿となる工業団地の拡張事業を花岡地区において現在進めております。引き続き、県と連携して企業誘致を進めてまいります。 | B |
| 64 | 「起業・創業者数」を主な数値目標に明記するなど、創業・事業承継に関する取組をしっかりと記載してはどうか。創業を通じた関係人口の創出強化につながるかと考える。創業・事業承継に係る取組みの記載が弱いのでは。 | 毎年10件を超える新規創業があり、また女性がその半数を超えるなど、起業や創業への意識が育まれていると考えております。起業や創業への機運の高まりを駅前や商店街に誘導する施策を検討してまいります。 | B |
| 65 | 大館に残ってもらうために、若者の働き先を確保することが重要である。 | 若者の働き場所の確保については、本市の重要な課題であることから、企業誘致活動を継続し、若者のニーズに合った働く場所の創出を図ります。また、地元企業の生産性を高めるため、工場等設置促進条例や先端設備等導入計画などに基づくハード整備への支援のほか、ものづくり力向上支援事業や資格取得支援事業などの様々な施策を併せて進めてまいります。 | B |
| 66 | 退職後に再就職するためのスキルを身に着ける場を整備してほしい。 | 各種産業に必要な技術労働者の養成を行なうために設置している総合技能センターの利用促進や資格取得支援事業を通じて、市民の職業能力の向上につなげてまいります。 | A |
| 67 | 正札竹村の跡地や隣接する空き店舗について、利用者を募集して活性化につなげてほしい。 | 同建物や隣接する空き店舗を含めた中心市街地の活性化については民間の活力活用を含め、最適な方法を検討してまいります。 | C |
| 68 | 人口の流出を防ぐため、若い人が残って働いてくれるように、大型モールや企業の誘致を進めてほしい。 | 商業施設出店への民間投資を促すためには、需要を生み出す必要があることから、関係人口や交流人口の拡大を進め、人の流れの創出に努めてまいります。また、若者の働き場所を確保、企業誘致活動を継続するとともに、サテライトオフィス事業によるIT系企業などの誘致や地元企業への支援を進め、若者のニーズに合った働く場所の創出を図ってまいります。 | C |
| 69 | 人口減少や若年層が大館に残ってもらうための対策として、大きな会社の誘致が必要ではないか。 | 企業誘致に関しては、県の企業誘致担当部門へ職員を派遣し、県との連携を密にししながら様々な活動を展開しているほか、企業誘致の受け皿となる工業団地の拡張事業を花岡地区において現在進めております。引き続き、県と連携して企業誘致を進めてまいります。 | C |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 70 | 人口減少を抑えるために、企業説明会においても地元の良さ、地元でなければできないことを説明するなど企業のかたにも工夫してほしい。 | 地元企業の魅力をさらに理解していただくためにも、より効果的な情報発信を働きかけてまいります。 | C |
| 71 | 大館市内には空地、山に恵まれていることから、風力発電、太陽光発電の再生エネルギーに適した場所が多いと思うので企業を誘致することにより、メンテナンス等の雇用も生まれることから推進する必要があると思う。 | 市営釈迦内産業団地では、太陽光発電や木質バイオマス発電といった再生可能エネルギー関連事業所の集積が進んでおります。また、秋田港及び能代港において、国内初の大規模洋上風力発電所の商用運転が開始され、市内においても洋上風力発電関連の受注を目指し、工場の増設や新たな雇用が生まれるなどの動きが出てきております。市では、再生可能エネルギーの推進に向けて、引き続き事業環境の整備と事業者への立地環境の周知を図ってまいります。 | C |
| 72 | 市内高校、大学等の新卒者に対して地元企業の就職を促進、県外流出を一人でも防いでほしい。特に女性については、待遇をよくし、企業誘致や地元企業に就職に力を入れるべきである。 | 高校生や若者に地元企業の情報を伝えることは非常に重要だと考えております。SNSを活用し、大館の企業情報を発信することで若者とのチャンネルを作り、就活のタイミングで大館を選択肢の一つとして考えていただけるよう働きかけてまいります。 | C |
| 73 | 若者が定住出来る職場が少ない、給料が他に比べて低い、県外の大学に行く地元には帰らない、レジャー施設がまばらない。 | 自然を軸とする地域資源を含め、進学で離れても再び帰りたくなるような魅力あるまちづくりを目指します。若者の職場の確保、給与水準の向上、定着の推進については、市内事業者の生産性向上を支援することを通じて従業員の待遇改善を促していくとともに国にも格差の解消を訴えてまいります。また、レジャー施設については、移動手段が高度化している中で、ニーズが多様化していることから、市内で全て完結させるといっても、むしろ交流を推進していくことで北東北が全体的に発展していくという考え方も必要と捉えています。 | B |
| 74 | 民間の投資が郊外製造業に偏っていないか？商業他投資企業がが少ないのは大館に魅力がないからでは | 民間商業施設の出店に当たっては、継続的利益の確保など総合的に分析した上で、民間事業者が判断するものと考えております。商業施設の売り上げに直結する人の流れを生み出す取り組みとしては、秋田犬を基軸とした観光振興に力を注いでいるほか、新たな移動サービス「mobi」の導入や、道路や鉄道輸送の機能向上など、人流と物流の利便性を高めることに努めております。このような取り組みを通じ、大館が民間事業者にとっても魅力的で、選んでもらえるまちになるよう、さまざまな施策を重層的に進めてまいります。 | C |
| 75 | 大町商店街の空き店舗ばかり並ぶ状況を改善してほしい。シャッターが降りていると、明かりもなく寂しい。イベント企画しているのもわかるが、メインターゲットが誰なのか分からず、中途半端になるし次がないのでは意味がない。 | 創業や事業承継の促進、空き店舗利活用事業を強化していくほか、長期的な取り組みとして、関係機関と連携を図りながら都市のグランドデザインを検討してまいります。 | B |
| 76 | 全国に先がけて大館独自の働き方改革を推し進めてはどうか。短時間正社員制度の導入や兼業や副業をあえて奨励するなど就労時間を可能な限りフレキシブルにし、大胆で柔軟な働き方改革を推し進めることで、市全体の生産性の向上と活性化、人口流出を防ぎ、全国からの移住を促進する。 | 労働力不足が深刻な中、定年後も元気な高齢者、子育てや家族の介護で一時的に離職した方などの活躍の場が必要であることから、多様な働き方については、「3-3 産業人材の育成と潜在労働力の掘り起こし」の中で検討してまいります。貴重なご意見として、今後、取り組みを進めるうえで、参考とさせていただきます。 | B |

施策3-4 新たな交わりが生む産業の基盤づくり

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|---|----------|
| 77 | インランドデポ構想について、市民や県民にもっと支持してもらえそうなPRのしかたを考えた方がよい。具体的には、「CO2の排出削減と流通業界の2024年問題の改善に大きく貢献できる政策である」ということをもっと訴えなくてはならない。 | ご指摘のとおり、トラックから鉄道輸送への転換（モーダルシフト）はCO2削減に繋がるとともにトラックドライバー不足への有効な手段であることから、国も推進しております。また、北東北は首都圏への輸送距離が長く、製造業の物流環境整備へも本構想は貢献できるものと考えております。市では現在、実現に向け、各種調査事業を進め、適宜アナウンスを行っておりますが、今後も市民、関係者へ、構想の有用性をPRしてまいります。 | B |

施策4-1 地域の宝を活かす観光振興

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|---|---|----------|
| 78 | 秋田犬ハチ公生誕100周年イベントの挙行や慰霊祭などは、非常に評価できる。今後とも、要となる秋田犬イベントに力を入れてほしい。 | ハチ公生誕100年プロジェクトは、次の100年に向けてのスタートのイベントであると認識しており、今後も秋田犬、忠犬ハチ公が紡ぐ縁を生かした事業を推進してまいります。 | A |
| 79 | 小規模イベントの開催、産直サイツ、肉博などは興味深い。若手の意見をどんどん取り入れる姿勢は非常に評価できる。 | 今後も、若い方の意見を取り入れながらイベントを継承していきたいと考えております。 | B |
| 80 | 地域での販売力を強化。いろいろな業種の商品を販売し、市内外からの集客で自立運営可能な大型の道の駅を。 | 道の駅には国道に面していることや距離要件などがあり、設置へのハードルが高いものの、地域の販売力を高める場になり、賑わいを生み出す場になりうるものと考えております。 | C |
| 81 | 桜櫓館の有効活用を。まちづくりに対する熱意は感じているが、管理人にその意識がない。管理人の人選を重視してほしい。 | 国登録有形文化財の桜櫓館は、平成30年度に市有化を行ったのち、施設の維持管理を委託しております。令和2年度の耐震改修後は、新庁舎の開庁もあり約4,500人の来館者がありました。現在は減少傾向にある一方で、貸館については「和」を感じられる空間として、催し物等の利用が増加しております。桜櫓館のさらなる利活用に向けて、民間活力を活用し、利便性の向上や魅力の発信を図ることを目指しております。 | C |
| 82 | 桜櫓館は場所も良く、インスタ映えする。上手くPRできれば入館者も増えるはず。「成人の日は桜櫓館で晴れ着撮影」が定番になればいいと思う。 | 桜櫓館のさらなる利活用に向けて、民間活力を活用し、利便性の向上や魅力の発信を図ることを目指しております。そのことにより、ホームページの充実及びSNS等による情報発信、企画事業の提案及び運営など、品格ある和の空間で、利用者のニーズに応え、また行ってみたいと思える場所となるよう整備を進めてまいります。 | C |
| 83 | 大館市内で、観光における「コト」とは具体的にどんなコトを考えているか。時期を変えて2回以上行いたいと思え、かつ金銭を支払う価値のある体験で、他県・他市町村との差別化ができるコトは現時点であるのか。 | 大館曲げわっぱの製作体験やきりたんぼ作り体験については、観光の大きな魅力に繋がっていると考えております。なお、五色湖エリアでは「野遊びSDGs事業」を進めており、令和7年度には魅力的なキャンピングフィールドがオープンする予定となっております。四季を通じたアウトドアでの体験・アクティビティを検討しており、ニーズに対応したコト消費に繋げ、他地域との差別化を図りたいと考えております。 | A |
| 84 | 県内外のアーティストに対して、滞在型での制作活動ができるよう空き校舎や空き家をアトリエとしてレンタルできるように整備してみるのはいかがでしょうか。 | 関係人口の創出につながる取り組みであるとは思いますが、市が整備することは難しいと考えております。現在、空き家の利活用については大館市空き家等対策計画に基づき、検討してまいります。 | C |
| 85 | 秋田犬の里は有料化してもいいと思う。生体展示していくには経費がかかること、天然記念物の展示でもあるため持続可能な経営を目指すには入館料を取ったほうがいいのではないかと。また、パネルの展示替えをこまめに行い、リピーターの獲得に努めてほしい。秋田犬の里単体での集客は弱いと考えている。 | 秋田犬の里の維持管理には多額の経費が掛かっており、持続的な施設運営のためには有料化も一つの方策であると考えます。現在も季節ごとに展示内容の更新を随時スタッフが行ってまいりますので、今後もその取り組みを継続してリピーターの獲得につなげていきたいと考えております。 | B |
| 86 | 石田ローズガーデンはイベント企画が単発で終わることがあり、1年を通じてイベントコンセプトがはっきりしない印象がある。冬季に花は咲かないが、写真の展示やドライフラワー講習、バラの持つ魅力発信など、冬こそ集客に力を入れてほしい。カフェ自体も、もう少しバラに特化したデザートメニューがほしい。 | 石田ローズガーデンでは、年2回春と秋にバラまつりを開催し、多くの観光客にお越しいただいております。石田ローズカフェ、またはローズガーデンを活用したイベントなどカフェ運営者とも協議を進めながら、集客につなげてまいります。 | B |
| 87 | アルベルゴ・ディフーズは具体的にどんな建物を利用するのか。大館に、歴史と結びつきの深い建物はどんなものがあるのか。民泊との差別化はどうしていくか。 | アルベルゴ・ディフーズについては、歴史的建造物や古民家を活用した宿泊施設とそれを取り巻く飲食店等の様々なお店が集まった地域を形成し、観光客がその地域を周遊しながら楽しんでいただき、賑わいを創出するものです。活用する建物など具体的な事業内容については今後検討してまいります。 | B |
| 88 | 大館は祭りのない時期は観光する場所がないと言われた。食に関しては美味しい店が沢山あるものの、体験型の観光にシフトするにも移動手段の問題がある。今後どのように改善していくか。 | 大館市には祭り以外にも多くの地域の観光資源があることから、そのPRをさらに進めるとともに、観光客の移動手段としては既存の公共交通機関やタクシーなどの利用いただくとともに、ニーズを調査したうえで検討してまいります。 | B |
| 89 | ベニヤマ荘やトムトムの温水プール施設跡など活用していない施設は解体などを進めたらどうか。跡地に足湯付きの休憩所や草花を植え、公園のように活用してほしい。 | 活用していないベニヤマ荘やトムトムの温水プールなどの施設については、建設時の経緯や補助金の関係で解体できない状況もありますのでご理解いただきたい。 | C |

| | | | |
|----|--|--|---|
| 90 | 都市と自然・歴史・文化の調和した生活空間の確保に関連し ⇒空き家、空き店舗を活用した官民連携リノベーションの具体 化策を示すことが必要。「未廣」のような歴史のある建物をイン バウンド向け宿泊施設として活用するのはどうか？ | 空き家、空き店舗を活用したリノベーションについては、初期投資が 大きい採算性が大きなハードルとなっております。また、民間団体が 事業主となり、取り組んでいる事例もあります。 歴史的な建造物の減少は全国的な課題となっており、昭和期の四 度の大火もあり、本市でも非常に現存数が少なくなっております。歴史 的建物は訪日外国人に高い人気があり、宿泊施設として活用する取り 組みは、インバウンドの呼び込みに大変有効と考えます。他市でも実 例があることから、官民連携で具体化に向けて取り組んでまいります。 なお、民間所有の建物については、所有者の意向もあり難しいところ もあるので、ご理解くださいますようお願いいたします。 | B |
| 91 | インバウンド需要の高まりを踏まえ、外国人観光客や県外客の 誘客に向けた情報発信の充実や外国人観光客の受け入れ体制 の整備が重要。 | 新型コロナウイルス感染症の5類移行後、インバウンドが増加し、コ ロナ前の水準に戻りつつあることから、インバウンドに向けた情報発信、 魅力ある高付加価値な観光コンテンツを磨き上げ、受け入れ態勢の 整備など施策を進めてまいります。 | A |
| 92 | 長根山貯水池の季節の風景を観光資源として活用できない か。例えば緑のプレゼント会のように苗木配って植えさせ、自 ら名付け親となりボランティア管理させるなどしたらどうか。 | 岩神貯水池は、春の桜の時期から秋まで多くの方が訪れ、散策や ウォーキングに加え、鳳凰山への登山口としても利用されており、観光 資源の一つとなっていることから、さらなるPRに努めます。 | C |
| 93 | 犬都という文字が見受けられたが、具体的なコンセプトはなに か。秋田犬の飼育についてもプラス面しか広報されていないよ うに感じるが、飼育の難しさや金銭面など、親身になって相談 になってくれる窓口があるといいと思う。また、秋田犬と一緒に 大館市に赴いても車中泊する人が多いと聞く。宿泊施設や犬 同伴OKのカフェなどに助成金を出すのはどうだろうか。 | 秋田犬というコンテンツは本市の強みであり、観光資源となっており ます。一方で犬都としての取り組みについてはご意見のとおり不足し ている部分があることから、今後も秋田犬に関する様々な取り組みを 継続してまいります。 | B |
| 94 | 五色湖エリアの景観は素敵だが、道路への落石や谷川が危 険そうな所がある。それに糸滝までのトイレがいつ行っても虫 だらけと汚れている。国内外からの誘客には課題が多くある。 熊の出没も含めた安全対策を。 | 五色湖エリアの安全対策について、施設整備を進めるなかで検討し てまいります。また、糸滝周辺の整備については、関係機関と協議の うえ進めてまいります。 なお、五色湖ロッジから糸滝までの区間においては、一部道路改良 を予定しており、今後も危険箇所を把握し、安全・安心な道路空間の 確保に努めてまいります。 | B |
| 95 | 「秋田犬の里」秋田犬は常に1頭しかいないのは、せっかく遠 くからいらした方が寂しい。レストランが併設されていないことも 不便だと言っていた。 | 秋田犬の展示については、多頭展示によるストレスを防ぐため、基本 的に1頭の展示としています。 来館者の滞在時間を延ばし、消費の拡大を図るためには、飲食ス ペースの設置が効果的であると考えておりますが、常設は困難な状況 であり、週末やイベント開催時の出店など飲食業者の方々からご意見 をいただきながら検討を進めてまいります。 | B |
| 96 | 田代岳登山道の整備をしてほしい。 早口沢～岩瀬沢の道路整備また青森方面も青森県と話し合 い整備してほしい。 田代岳の木道の整備と9合目一周できるルートを新しくして五 色湖見る展望台新設してほしい。 早口沢の登山道篠沢の案内看板を新しく新設してほしい。 わかりにくい。(1合目、2合目など) | 田代岳は国有林内に設置された、県立自然公園となっていることか ら、登山道や木道の整備、案内看板については、関係機関と協議し、 進めてまいりたいと考えております。 林道の整備についても管理者への要望を継続してまいります。 | C |
| 97 | 秋田犬保存会の展覧会は大館市で開催するべきではない か。また、夏祭りの開催日を固定化すると訪問者が増加する と思う。 大館市により多くの人に来てくれるような宣伝方法を考案し てほしい。 | 秋田犬保存会の本部展覧会については、令和6年度は大館市での 開催される予定であり、秋田犬を通じた賑わいの創出に務めたいと考 えています。 大文字まつりは、現在は毎年8月11日の山の日で開催することと しております。祭り・イベントの開催については、集客の面と伝統文化と しての祭りの位置づけを考えながら開催日が決められているものと思 います。 大館市への誘客に向けた情報発信は、ホームページはもとよりSNS など多くの媒体を活用していきたいと考えております。 | B |
| 98 | 秋田犬の里や大館駅も新しくなり観光客を多く誘客する為にも 大館市の玄関口の景観をよくすることが大事だと思います。 駅前の古い建物があれば新しい看板を立てるとか、外壁を塗 装するなど大館市、駅前商店街の皆さんで話し合っていた きたい。他の観光地は皆様が又行ってみたいと思う、街づくり をすることで観光客、国内外から誘客、促進すると思います。 | JR大館駅が新しくなり、さらに駅前通りの無電柱化が進むなど、大館 駅前の整備が進んできていることから、大館市の玄関口として国内外 の観光客に好印象を与えられるような景観となるよう施策を進めてまい ります。 | B |

施策4-2 新たな人の流れづくり

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|---|----------|
| 99 | 観光は、自家用車があることが前提。飲食店や温泉施設、宿泊業界、公共交通機関などを巻き込んだ複合的な観光に力を入れてほしい。 | 鉄道、バス、飛行機、タクシーなど市内の公共交通機関を活用した観光につなげられるよう、受け入れ体制の整備や情報発信を促進します。 | B |
| 100 | 有料老人ホームを誘致し、都会に出て行ったまま退職した高齢者を「支給される年金だけで住めます」という触れ込みでUターンさせることは可能では。若者を増やすために、まず都会に流出した年金世代を連れ戻しましょう。 | 高齢者のみならず、首都圏への人口集中の解消と若い世代の定住・定着は少子高齢化の進む地方にとって両輪で取り組むべき課題であります。 高齢者世代のUターンにつきましては、対象者それぞれの生活状況に違いがあるため、ご意見のような形式での移住をPRするには課題が多いものと考えます。また、有料老人ホームの誘致につきましても、建設地確保、周辺住民との調整など課題が多いことから、慎重に検討する必要があると考えます。 | C |
| 101 | 関東の知人が大館に来た際、市観光マップにバスの路線名やmobiの情報もまとめて載っていると助かると話していた。 | 観光マップへの地域の公共交通機関の利用につながる情報については、観光マップへの記載方法を含め検討してまいります。 | B |
| 102 | 人口減少を防ぐためには、若年層の定住がまず必要で、そこから結婚・子育て支援につながるのではないかと。 | 若い世代の定住・定着は、持続可能なまちづくりにおいて重要な課題のひとつであります。また、進学や就職などで一度地元を離れた若い世代が地元に戻り、暮らし、活躍できる環境を整える受け皿づくりも重要であります。 これらの課題解決に向けて、市内の高校3年生を対象に移住・定住説明会を実施するほか、県、学校、企業、関係各課と連携を強化し、若い世代の移住・定住の促進につなげてまいります。 | A |
| 103 | 空家のレンタルに依る田舎体験(農業 畑 自給自足)など将来的に移住も望める | 現在、首都圏の大学生を中心に大館市の企業で就業体験する「ふるさとワーキングホリデー事業」を県内で唯一実施し、関係人口の創出に取り組んでおります。 引き続き、体験事業を通じた若い世代の関係人口創出に取り組むとともに、その先にある移住・定住を見据えた事業創出も検討してまいります。 | A |

施策4-3 スポーツの力による健康&産業のレベルアップ

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|---|---|----------|
| 104 | 健康増進のため屋内プールを建設してほしい。また、公認の要件を満たす設備の整備を。 (合体前) 公式の要件を満たす温水プール設備がない。練習する施設もスイミングスクールが空いている時しかない。 | スポーツ種目の多様化や、より専門的な施設設置などのニーズが高まる一方で、人口減少に伴う競技人口の縮小により新規大型スポーツ施設の設置は難しいと考えております。 現在設置されているニプロハチ公ドームやタクミアリーナ、高館テニスコートなどをはじめとする全国規模の大会が開催可能な大型施設のほか、民間の施設やスポーツ団体をうまく活用していただけるようソフト面を工夫することで、市民の健康と地域の活性化に向けてスポーツインライフ、スポーツツーリズムを推進する方針です。 今後、行政サービスを安定的・持続的に行っていくためには、一自治体が独自に施設整備を進めるのではなく、近隣自治体それぞれが有するインフラや資源を連携して有効活用するようなハード面の整備の在り方が必要だと考えております。 | C |

分野別戦略5 住みやすく災害に強い まちづくり

施策5-1 コンパクトで調和のとれた都市機能・生活空間の整備

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|---|----------|
| 105 | コンパクトシティを目指すことで郊外の空き家問題が浮上するジレンマをどうクリアするか。 | 中心市街地の活性化を図り、市全体のインフラの維持コストを抑えるためにも、コンパクトシティの推進が必要と考えます。まちの在り方については、大館市まち・すまい協議会において協議を進めるとともに、空き家問題については、大館市空き家等対策計画に基づき、利活用を検討してまいります。 | B |
| 106 | 早口地区をコンパクトシティの中核エリアとして再編してはどうか。駅から半径500m内に郵便局、金融機関、行政機関、書店などがあり、再生できる可能性があるのではないかと。 | 早口駅はコミュニティバスと路線バスの乗り継ぎの拠点であり、周辺施設の利便性にもつながることから、関係機関と協議しながら再生整備を検討してまいります。 | C |
| 107 | 若年層が市中心部へ移動し、郊外の高齢化が進むなか、田畑など放置されているのが目につくことが多く、どのように対処していくのか。 | 10年先の地域農業の方向性を定めるため、地域の農業者のみならず、住民を交えた話し合いを行い、地域計画の策定を行っています。この地域計画を基に農地の有効利用を支援します。 | C |
| 108 | 除雪対策として流雪溝の整備や除雪後に家の前に残る雪の対策を検討してほしい。除雪対策を考慮した都市計画はできないのか。 | 流雪溝整備等の除雪対策を考慮した都市計画については、今後、関係機関との協議・調整を検討してまいります。 なお、流雪溝の整備が可能な地域は、水源を確保できる地域に限定されるほか、その整備には多額の費用が必要となることから、間口に大量の雪を残さないよう、除雪業者に継続的に指導してまいります。 | C |
| 109 | 分譲開発計画に対する許可をする際、道路網整備を考慮した内容とすることはできないか。子どもの遊び場を統合して大規模なものとするのはできないか。公園の利用状況を確認の上、統廃合を含めて検討してほしい。 | 開発行為における事業者との事前協議では、ご意見のありました道路配置等についてもご協力をお願いしているところであり、今後も引き続き関係法令に基づき、開発行為の許可を行ってまいります。 子どもの遊び場所である公園の維持管理計画の「大館市公園施設長寿命化計画」は各公園の実情に合わせ、5年毎に見直しを図っており、遊具の更新・整備については計画と利用実態を見極めながら毎年5箇所の公園で行っております。ご意見のありました公園の統廃合、遊具の大型化については、今後も引き続き検討を行ってまいります。 | B |

施策5-2 移動体制(道路・交通)の充実

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|---|----------|
| 110 | 高齢者の免許返納者への対応や赤字バス路線などさまざまな問題を抱える公共交通について、バスの路線再編や乗車数に見合った車両の導入のほか、自動運転やデマンドタクシーなどバス以外の交通モード導入を行ってほしい。 宮古市のように地域住民が主体となって送迎チームやカーシェア会を立ち上げ、市が様々な支援を行っている例もある。 | 市では市民の生活の足となる移動手段の確保を確保するため、mobiや田代地域バス路線再編、自動運転等の実証運行を実施しております。 ご提案いただいたライドシェアのほか、先進地の事例を参考に、引き続き新たな移動サービスの導入を検討してまいります。 | B |
| 111 | mobiのサービスは便利だが、利用範囲の拡大や混雑時の予約の改善、夜間の運用など改善してほしい。 そのほか、乗り合いサービスの導入や自動運転車両の拡大、現在地から利用できる交通手段のアプリの提供など、スムーズに町を移動できるよう交通の利便性を高めてほしい。 | mobiについてのご指摘のあった点につきましては交通事業者と協議を重ねており、協議が整い次第、改善したいと考えております。 交通系アプリの提供につきましては今後、検討してまいります。 | B |
| 112 | mobiの全市内運行を。 | 市では令和4年度より市中心部半径2km圏内でmobiの実証運行を実施しており、市民アンケート等でも同様の意見をいただいております。mobiの運行範囲については実証運行の実績により検証することとしております。 今後も、地域の実情に沿った最適な移動サービスを検討してまいります。 | B |
| 113 | 誘客や企業誘致のため、新幹線や内陸線なども含めた交通網の整備はできないか。 | 本市は現在、JR奥羽本線、花輪線の鉄路や国道7号をはじめとする幹線道路の結節点となっているほか、東北自動車道や日治道との接続により高速交通体系の整備が進展しているところであります。 ご提案のありました新たな交通網の整備については、関係機関及び周辺自治体と検討してまいりますのでご理解願います。 | C |

施策5-3 安全で良質・衛生的な水環境の実現

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|-----|-------|----------|
|-----|-----|-------|----------|

施策5-4 デジタルを活用した基盤強化

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|--|----------|
| 114 | スマホ教室は良い取組みであるが、自分で準備できないかたや取扱いが困難な人について支援はできないか。 | 本市では、誰もがスマートフォンを使用できるように、民間携帯電話会社と連携し地域に向いて操作教室をおこなっています。現在、使用機器の購入費助成はおこなっていませんが、機器の貸し出しなどニーズに合わせた支援について取り組みを進める中で、検討してまいります。 | B |
| 115 | マイナンバーカードの活用により手続きが簡単になるのは良いが、後々所有者が手続出来なくなってしまうときに代理手続などはできるようになるのか不安である。 | マイナンバーカードの受取りのほか、カードに搭載されている電子証明書の更新等も必要書類を提出することで、代理人による手続きが可能です。手続き等については、引き続き、周知してまいります。 | C |

施策5-5 住生活環境の整備

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|--|----------|
| 116 | 危険な住宅が多くなったため移住者促進計画を含めた空き家対策を。 | 「大館市空き家等対策計画」を令和6年4月に改訂し、現在の状況を踏まえた空き家等の対策を関係各課と連携し推進してまいります。 | B |
| 117 | お墓を市外から移し、墓参りも便利になったが、80才近い夫婦二人だけの生活で後継者がなく、市内に親族が居ないため、今後のお墓の問題が悩み。 | 小柄沢墓園をはじめ市営墓地においても、近年墓じまいが増加傾向にあります。それぞれ様々な事情等があるかと思しますので、ご相談のうえ、ご要望にお応えできるよう努めてまいります。 | C |

施策5-6 環境保全・循環型社会の実現

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|---|--|----------|
| 118 | 市には素晴らしい自然が多くあるがそれを長く継続し、また、新しいアイデアで今の時代に合うように整備し、市民に憩いの場を継続していくことが大事。大館市民一緒にゴミの無い綺麗な街大館市をアピールしたいと思います。 | 地域環境の保全を目的とし、年2回、春と秋に清掃デーを開催しています。市内の各町内会をはじめ多くの市民の方々にご協力いただいております。引き続き取り組んでまいります。 | C |

施策5-7 消防・防災力の強化・減災への備え

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|--|----------|
| 119 | 行政は個人情報保護法の運用の見直しを行い、市が持っている住民情報の必要な部分を警察・消防・自治会(福祉員・民生委員)と常時共有できるシステムを構築してはどうか。 | 有事の際は、それぞれの組織の枠を超えた個人情報の共有が可能となっておりますので、ご理解をお願いいたします。 | C |
| 120 | 大館市の事業継続計画(BCP)の策定及び企業への策定支援の記載 大規模災害発生時の備え、避難所の整備、備蓄等への取組みについての記載を追加してはどうか。 | ご意見のありました各種施策については、本プランとは別に計画やマニュアルを作成のうえ取り組んでおりますので、ご理解くださるようお願いいたします。 | B |
| 121 | 大きな地震の発生もあったことから、地震対策について目標や数値目標が十分か確認してほしい。 | 地震については、「大館市地域防災計画」において対策や状況を明記しており、定期的に見直しをかけておりますが、ご指摘にありましたように対策や目標値が十分か確認し、見直しを行ってまいります。 | B |
| 122 | 各地区の消防団員の定年が65才とのこと。当地区でもそうだが65才以上の年齢の男性が少なくなっているため70歳までの延長が必要ではないか。 | 本市では、平成20年に消防団員の定年を満60歳から65歳に引き上げております。現団員は857人で、定員980人に対し充足率87%ほどです。自然災害の頻発、甚大化が顕著な現状で、地域を守る大きな力となる団員の確保は全国的な課題でもあります。加齢に伴う体力の低下などを考慮しつつ、培った知恵や経験を継承し消防団活動に生かしてもらえよう、定年延長を含め定年制の見直しや、活動機能を特化した団員など、団員確保と地域の防災力の維持、向上に向け、様々な方向から検討してまいります。 | B |

施策5-8 暮らしの安全安心に向けた対策の推進

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|---|--|----------|
| 123 | 大館駅前道路が狭く、信号がない。駅から秋田犬の里に向かう歩行者が見えづらいこともある。暗い時間に大型車が通るときは危ないと感じる。安全に配慮した道路や街頭をふやすなどの整備をしていく考えは。 | 大館駅前については、大館駅整備計画において照度を検討し、駅前広場内を含め道路照明灯を11基整備する予定としております。また、大館駅から秋田犬の里に向かう市道に関しては、無電柱化推進計画事業により道路上の照度を検討し、街灯の更新を計画しておりますので、ご理解をお願いいたします。 | B |
| 124 | 県道から市道に抜けて中道公園を通過して短期大学へ抜ける道路は車の通行が多くなり大変危険な状況が見受けられますので、事故を未然に防ぐ為にも速度制限40kmの標識設置をお願いしたい。 | 速度制限標識の設置や巡回など、ご意見いただいた内容について大館警察署へ要望を行います。 | C |

施策6-1 生産性と競争(共創)力を高めた行財政運営

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|-----|-------|----------|
|-----|-----|-------|----------|

施策6-2 広域の官民とのつながりを活かした取り組みの深化

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|---|---|----------|
| 125 | 大館市「東京出張所」の開設又は東京常駐者制を新設してはどうか。大館市の情報を常時、且つ、広域に発信し、各地域のイベント参加で大館の宣伝等をしては。 | 本市では、平成8年度から秋田県東京事務所へ職員を派遣し、観光面における情報収集や発信、また企業誘致の推進を図っており、今後も継続してまいりますと考えています。 | C |

施策6-3 DXの推進

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|---|--|----------|
| 126 | 公民館利用規則を見直して柔軟な対応ができるようにできないか。使用にあたっての申込書や使用報告書の記入が煩雑である。こういう部分のデジタル化を進めて欲しい。 | 本市では、業務の効率化やペーパーレス化に取り組むため行政手続き等のオンライン化を推進しております。ご提案の内容につきましては、取り組みを進める中で、さらに推進してまいります。 | B |
| 127 | IoTの具体的な利用状況について知りたい。具体的にどのくらい設備投資し、効率や残業はどのくらい改善してきているのか。 | 「6-3 DXの推進」において、庁内システムの最適化・効率化に取り組むことで、業務の負荷軽減とコストの圧縮を推進してまいります。また、ご意見がありました点についても、効果検証に取り組んでまいります。 | B |
| 128 | 市内の施設の空き状況をネット上で公開し、ネット予約や電子マネーでの支払いに対応してほしい。土日祝日や夜間の利用で後日払いになるのは不便である。 | 一部施設については使用状況をインターネット上で公開しておりますが、「6-3 DXの推進」及び「横断的戦略2 デジタルの力を活かした基盤づくり」の取り組みを進める中で、さらに推進してまいります。 | A |
| 129 | 市のXの投稿がほとんどクマ出没状況の投稿である。今回のパブリックコメント募集に関しても投稿されておらず、もったいないと感じる。もっと積極的な情報発信をしてほしい。 | いただいたご意見をもとに、市のホームページでの掲載方法の見直しを図るとともに、SNSを活用した積極的な情報発信に全庁で取り組んでまいります。 | B |
| 130 | 若い人に情報を共有する工夫をしていくべき。広報が家に届いても、読んでいない市民はどれくらいいるか。SNSを活用し新鮮な情報を発信してほしい。 | 若年層をターゲットにSNSや市ホームページを活用した、積極的な情報発信を引き続き行ってまいります。また、広報紙から市ホームページの詳細ページにリンクさせるなど、分かりやすく、伝わりやすい紙面構成に改善してまいります。 | B |
| 131 | 各公民館の活動内容で面白いものがあったら、他の地域まで情報が来ないことが多い。公民館講座の内容もSNSにアップしてほしい。 | 大館市のホームページに「地区公民館だより」及び「中央・地区公民館行事予定表」を掲載しておりますので、ご活用くださいますようお願いいたします。 | C |
| 132 | いつでも誰でも議会的一般質問が見られるように、ネットでの生中継、アーカイブを取り入れることを提案します。 | インターネット配信につきましては、録画配信を検討中です。なお、一般質問を含む本会議の記録については、過去の分を含め、市ホームページに掲載しております。 | B |

その他(複数分野・施策にまたがるもの)

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|--|--|----------|
| 133 | 市内の歴史的拠点は点在している。線をつなげるには？アクセスや受入態勢などリポートにつながるよう駅他SNS含めた案内や広告を強化しては。 | ご提言のとおり、歴史的資産を線をつないでいくルート設定が課題となっております。今年度から大館商工会議所の観光振興委員会と連携し、点在する貴重な資源を周遊し、風土や観光、食文化など幅広く大館の魅力を堪能いただける取り組みを行っております。また、SNS、秋田犬の里、駅なか交流センターなど、観光客の目に触れるような公共施設を通じた情報発信を強化してまいります。 | B |
| 134 | 岩瀬沢や早口沢の限界集落をコンパクトシティ構想のエリアに引き上げさせることで市のインフラ維持費は節約できる。駅周辺に有料老人ホームを誘致を。 | 「施策1-4 ともに支え合う社会の実現」及び「施策5-1 コンパクトで調和のとれた都市機能・生活空間の整備」を進める中で、検討してまいります。また、有料老人ホームの開設については、秋田県が行っておりますので、ご理解をお願いいたします。 | C |
| 135 | へき地の活用と地域コミュニティの創設を。少人数保育や自然豊かな環境は、小中都市・大都市に住む子育て世代にとっては大変魅力的であり、へき地での教育は誇るべき教育内容と感じる。へき地をアピールし、また市をあげて地域コミュニティを創設しては。 | 町内会などの地域活動を担う組織は、少子高齢化により深刻な担い手不足などの課題を抱えておりますが、地域における助け合いの役割を担うなど、市のまちづくりには欠かせない存在であります。また、教育・保育の水準及び自然環境の魅力は、へき地など一部地域のみならず、大館市全域がそのように捉えられると考えております。ご提案の内容については、「1-1 未来の希望を守る子育て支援と家族に優しい社会の実現」及び「1-4 共に支え合う社会の実現」の取り組みを進める中で検討してまいります。 | B |

| | | | |
|-----|---|---|---|
| 136 | 女性の収入アップについてどのように考えているのか。また、若者の出会い・結婚に関しても収入が少ないことが原因の一つにあると思うが、市として収入の向上または若者への減税などは考えていないか。 | 女性のみならず若者の所得向上を図ることは重要な施策のひとつと考えております。市では、仕事に役立つ資格の取得費用や能力開発セミナーの受講費を助成するなど、事業者の人材育成や生産性向上を支援することで、市民の所得向上に取り組んでおります。その一方で、女性の働く選択肢の幅を広げるため、多様な働く場の創出にも努めてまいります。減税については、ご提案を踏まえながら、今後検討してまいります。 | B |
| 137 | 大館市の学力の高さを活かし、空き家を活用するなど、小・中学校の間大館で学んでもらえるような仕組みにできないか。 | 全国的に評価されている「大館版ふるさとキャリア教育」は非常に魅力あるものと捉えており、子育て支援制度、空き家バンクの紹介も含め、関係各課と連携し、積極的に情報発信に取り組むとともに、仕組みづくりについて検討してまいります。 | B |
| 138 | 情報媒体の運用では、SNS(旧twitter/X)や市のホームページで、内外へ目立つような発信を。気づきにくいので、せっかくの情報ももったいない。 | SNSを活用した積極的な情報発信を全市で取り組んでまいります。また、市ホームページについては、見やすさや検索のしやすさの観点から構成の見直しをおこなってまいります。 | B |

プラン等について

| No. | ご意見 | 市の考え方 | 市の考え方の区分 |
|-----|---|---|----------|
| 139 | 街づくり未来づくりをもう少し分かりやすく具体性を。 | 市民の皆様にとって分かりやすい内容・表現となるよう努めるとともに、策定後には周知・広報に努めてまいります。本プランに掲げた施策を着実に推進し、持続可能で活力あるまちづくりを推進してまいります。 | C |
| 140 | 人を集めるためには、「得をする」「自己肯定感があがる」「アウトプットの場」が必要だと思う。それを実現させられる具体例が浮かびやすいプランを。 | 市民の皆様にとって分かりやすい内容・表現となるよう努めるとともに、策定後には周知・広報に努めてまいります。本プランに掲げた施策を着実に推進し、持続可能で活力あるまちづくりを推進してまいります。 | C |
| 141 | 少子高齢化、過疎化が進んで大館市人口がどんどん減っている。危機感をもって早急に対策してほしい。 | 次世代を担う人材の育成、結婚や出産につながる支援のほか、若者の定着に向けた働く場所の確保等に取り組む、持続可能で活力あるまちづくりを進めてまいります。 | C |
| 142 | 総花的で重要なところが分かりにくいのではないかと。縦割りにならないような書きぶりにもなっているため、それぞれの部署でしっかり実行してほしい。旧秋北ホテルは景観、耐震性など一市民として危惧している。法的な手段も含め対応してほしい。人口を増やし、活力ある都市となるよう期待している。 | 横断的戦略により、関係部署が連携を密にし、取り組んでまいります。市民の皆様にとって分かりやすい、おおだて未来づくりプランとなるよう、プランに掲げた施策を着実に推進してまいります。 | C |
| 143 | 市の取り組みを市民へ認知・理解させる取り組みが必要であり、今後官民一体となって取組みを進めていってほしい。 | 市のホームページや広報誌により、周知を図ってまいります。ご期待に応えられるよう、市民皆様のご意見をいただきましたながら本プランの施策を推進してまいります。 | C |
| 144 | 市民へ内容を浸透させることが重要であることから、市ホームページなどへ公開し、概要版の作成などにより周知することが必要である。また、見出し表示があるとよい。 | 市のホームページや広報誌を利用し、市民の皆様への理解と周知を図って参ります。見出し表示については、今後の策定のうえでの参考とさせていただきます。 | C |
| 145 | 第2次総合計画・総合戦略に触れ、その内容や目標達成度にも触れる必要があるのではないかと。また、分野別、横断的戦略に分けた理由は何か。 | 各事業の進捗状況については、毎年度、有識者会議において報告し、評価をいただいております。評価については、市のホームページで公表しております。また、分野別や横断的戦略に分けた理由は、市の重要施策の立ち位置を示し、関連する事業などを分かりやすくするためです。 | C |
| 146 | 人口減少に注視してほしい。 | 人口減少・少子高齢化は全国的な問題でありすぐには解決できるものではありませんが、減少の進行を少しでも抑制するため、本プランを実行しながら対策を講じてまいります。 | C |
| 147 | 概要版は抽象的で内容がわかりにくかった。 | 市民の皆様にとって分かりやすい内容・表現となるよう努めるとともに、策定後には周知・広報に努めてまいります。本プランに掲げた施策を着実に推進し、持続可能で活力あるまちづくりを推進してまいります。 | C |
| 148 | パブリックコメントに加え、より多くの市民へ理解・協力を得るために直接市民の声を聴く場を設けてはどうか。 | 今回のパブリックコメントでいただいたご意見や、日々寄せられる市民の皆様の声を踏まえながら、施策の推進に努めてまいります。 | C |
| 149 | 基本として人口減少を食い止める方法を考えるべきだ。人口減によりなんのプランもダメになり絵にかいた餅になる。大館市の特徴をいかしたプランを考えるべき。 | 人口減少・少子高齢化は全国的な問題でありすぐには解決できるものではありませんが、減少の進行を少しでも抑制するため、本プランを実行しながら対策を講じてまいります。 | C |

| | | | |
|-----|---|--|---|
| 150 | プランの名称について次年度も今までの政策をより具体的に実施することを考えれば、「おおだて未来づくりプランNO2」としてはどうか。 | 名称につきましては、内外部で組織する推進本部・懇談会にて決定しておりますので何卒ご理解願います。 | C |
| 151 | プランを読んでみたが具体的なものや難しい言葉が多く我々一般人にはさっぱりわからない。もっと〇〇をやる。〇〇を具現化する。と言った方がいい。 | 市民の皆様にとって分かりやすい内容・表現となるよう努めてまいります。また、策定後には市のホームページや広報誌により、周知を図っております。 | C |
| 152 | 大館市の目指すべき姿を明確に分かりやすくしてほしい。総合計画の策定は誰にでもわかりやすく、読みやすい計画に。行政が行う事務事業がより効果的、効率的に実施できるような指針を定め、進捗状況の確認、検証が可能な指標を選定してほしい。 | 市民の皆様にとって分かりやすい内容・表現となるよう努めてまいります。また、事業及び指標の効果検証については、毎年度実施しており、市のホームページで公表させていただいております。 | C |
| 153 | 計画(案)の名称について ”おおだてに住たい未来づくり”としては。 | 名称につきましては、内外部で組織する推進本部・懇談会にて決定しておりますので何卒ご理解願います。 | C |
| 154 | プランの理念そのものではなく、プランを具体的に実践する仕組みや、主体が一体誰なのかが示されておらず、将来的な理想を、文章面だけ並べ立てたものには見えない。 | 市民の皆様にとって分かりやすい内容・表現となるよう努めるとともに、策定後には周知・広報に努めてまいります。本プランに掲げた施策を着実に推進し、持続可能で活力あるまちづくりを推進してまいります。 | C |
| 155 | コンセプトがなかなか入ってこない。社会の流れについていくため全国と似たようなつくりになっているのではないか。若者が希望を持てる社会となるよう全力を傾けてほしい。 | 市民の皆様にとって分かりやすい内容・表現となるよう努めるとともに、策定後には周知・広報に努めてまいります。本プランに掲げた施策を着実に推進し、持続可能で活力あるまちづくりを推進してまいります。 | C |